

日本臨床検査専門医会

平成 27 年度第一回全国幹事会議事録

平成 27 年 1 月 24 日

日本臨床検査専門医会

平成 27 年度 第一回全国幹事会議事録(案)

開催日時：平成 27 年 1 月 24 日(土曜日)15 時 00 分～17 時 00 分

場 所：日本臨床検査医学会事務所

出席者：佐守 友博会長, 小柴 賢洋副会長, 東條 尚子副会長

池田 均, 木村 聡, 佐藤 麻子, 佐藤 尚武, 三宅 一徳 各常任幹事

土屋 達行, 高木 康 各監事, 紀野 修一, 清水 力, 上原 由紀, 下 正宗,

×谷 直人, 村田 哲也, 宮崎 彩子 各全国幹事

欠席者：菊池 春人, 宮地 勇人, 米山 彰子常任幹事, 萱場 広之, 五十嵐雅彦, 大谷 慎一,

村上 純子, 渡邊 卓, 和田 隆志, 河野 誠司, 末広 寛, 藤原 久美, 杉浦 哲朗,

松永 彰, 柳原 克紀 各全国幹事

事務局：市川 綾子, 小川(藤本) 梨恵

(敬称略)

定刻、佐守友博会長挨拶の後、議長として佐守 友博会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣した。

[審議事項]

第一号議案 議事録署名人選任について

議長は本会の議事録署名人の選出を議場に諮り、下記の2名を議事録署名人として満場一致で選任した。

議事録署名人;上原 由紀 幹事, 村田 哲也 幹事

[報告事項]

1. 各種委員会報告

①情報・出版委員会

宮地勇人委員長に代わり三宅一徳幹事より 2014 年度第 1 回日本臨床検査専門医会情報出版委員会議事録に基づき活動状況の報告があった。また、特集企画として「新専門医制度移行における臨床検査専門医の課題と対応」が出案されていることが報告された。佐守 友博会長より懸案事項である「ラボ」掲載ページの専門医会ホームページへの収録は日衛協の承認が得られたことが報告された。

②教育研修委員会

菊池 春人教育研修委員長に代わり三宅一徳幹事から、本年度の春季大会時の生涯教育講演会は日本臨床検査医学会倫理委員長 通山 薫先生に「残余検体は誰のもの？検査業務・研究と倫理のはざま」、奈良県立橿原考古学研究所 奥山 誠義先生に「文化財分

析・保存に関して(仮題)」の2題が予定されていることが報告された。また、本年度の教育セミナーは5月17日、24日のいずれかに慶応大学で実施する予定であり、日程は2月に決定することが報告された。

③資格審査・会則改定委員会

池田 均委員長よりメールによる入会案件審査を随時実施していることが報告された。

④渉外委員会

小柴 賢洋渉外委員長より本年度の第32回臨床検査振興セミナーは7月17日(金)に東京ガーデンパレスで開催予定であることが報告され、講演内容の提言をいただきたい旨の要望があった。

⑤広報委員会

木村 聡広報委員長より、懸案事項のりんしょう犬さん着ぐるみ作製は予算上不可となったこと、Web 講義アーカイブズは教育セミナー用 DVD を基に編集を検討する予定であることが報告された。また、出版社「じほう」より薬剤師向けの検査解説記事を連載する提案があったことが報告された。佐守 友博会長より情報・出版委員会との調整が必要であるが、広報的な内容であれば当面は広報委員長に交渉を継続していただきたいとの要望があった。

また、佐守 友博会長より臨床検査振興協議会で作製したステッカー、クリアファイル等を広報材料として活用いただきたいとの発言があった。

⑥保険点数委員会

佐藤尚武委員長より平成28年度診療報酬改定に向けて昨年12月に本会から第一次提案書として29項目の見直し、新規採用要望を内保連に提出したことが報告された。今後2月に領域別の順位決定、4月に最終提案書の提出を予定している。また、内保連の「説明と同意」委員会よりICに要する時間調査依頼があり、幹事各位に協力を依頼していることが報告された。

2. 専門分野別ネットワーク構築WG報告

佐守友博会長よりQ&Aシステムに新専門医制度での更新、受験資格認定に向けたポイント付与機能を追加するため、システム開発経費は当初予算より増加する予定であり、再度2社に見積依頼し、いずれも200万円程度の結果であったことが報告され、別途審議事項として補正予算の検討を行うことが報告された。また、日本臨床検査医学会にWGメンバーの選任を依頼し、土屋達行監事が選任されWGに参加することが報告された。

宮崎 彩子幹事よりWGで検討中のシステムの概略が報告され、当初予定していた機能に加えQ&Aへの回答に新専門医制度での「地域医療への貢献:学術業績・診療以外の活動実

績」ポイント、自己完結型 Q&A(所属医療機関におけるコンサルテーション例)の登録について「診療実績」ポイントを付与する機能の追加を予定していることが報告された。

土屋達行監事よりシステム開発状況、予算、ポイント付加機能等を日本臨床検査医学会に報告し、学会としての対応を要望したことが報告された。東條 尚子副会長より会員管理機能については事務局で確認が必要であるとの発言があった。

佐守 友博会長よりシステムは3月～6月の運用開始を目標に開発するが、今後 WG で運用規定を整備するため、追加メンバーの選任を検討していることが報告された。

3. 第 25 回（平成 27 年度）春季大会

松尾収二大会長に代わり三宅一徳幹事より第 25 回春季大会は平成 27 年 6 月 27 日(土)、28 日(日)に東大寺総合文化センター金鐘ホールで開催予定であり、27 日 11 時より全国幹事会、13:15 より総会、14 時より生涯教育講演会が予定されていることが報告された。27 日には特別講演としてケアプロ株式会社 川添高志氏に「検体測定室の考え方・現状と今後の展望」(案)および懇親会が、28 日には「知っておきたい専門領域の最近の話題」と「研修医・若手臨床検査医が育つための指導の仕組み作り」(パネルディスカッション)が予定されており、後者は新専門医認定制度における「指導医講習会」としての認定を予定していることが報告された。また、各種委員会開催のための会議室も確保しており、開催予定の委員会は事務局までご連絡いただきたいとの依頼があった。

佐守 友博会長より若手専門医の参加を促すため、パネラーおよび司会者として適任者があれば松尾大会長に推薦いただきたいとの発言があった。

4. 第 26 回（平成 28 年度）春季大会

杉浦 哲朗幹事に代わり三宅一徳幹事より第 26 回日本臨床検査専門医会春季大会は 2016 年 3 月 25 日(金)～26 日(土)に高知で開催予定であることが報告された。現在のところ 25 日(金)はホテル日航高知旭ロイヤルにおいて全国幹事会、生涯教育講演会、懇親会が、26 日(土)は春季大会として高知市文化プラザかるぼーとでシンポジウム 2 題、特別公演、ランチョンセミナーが予定されていることが報告された。

✕谷 直人幹事より 3 月の第 4 土曜日は例年日本臨床検査医学会定時社員総会および日本臨床検査同学院理事会が予定されており、日程の確認が必要であるとの指摘があった。注)本件について後日確認したところ、日本臨床検査医学会定時社員総会および日本臨床検査同学院理事会は 3 月 27 日の日曜日に行われることとなった。(事務局付記)

5. 平成 25 年度第 3 回日本臨床検査医学会専門医・管理医審議会報告

三宅 一徳東幹事より平成 26 年 12 月 27 日に開催された平成 26 年度第 3 回日本臨床検査医学会専門医・管理医審議会について以下の報告があった。

研修施設の認定更新については 44 施設が更新、専門医認定更新は 79 名がそれぞれ更

新された。これまでの専門医取得者のうち 80 名が更新保留、未提出となっている。管理医更新者は 30 名中 15 名より申請があり、全員が更新認定された。臨床検査専門医資格者の臨床検査管理医認定について 11 名から申請があり全員認定された。また、平成 26 年度管理医認定試験は 29 名全員が合格となった。2015 年度の専門医認定試験は 8 月 1、2 日に東京大学で、臨床検査管理医講習会・認定試験は 10 月 11 日に東京医科歯科大学で実施予定である旨報告された。専門医認定試験については実施要領の変更が行われ、「臨床病理」上で公開予定である。

また、新専門医制度の進捗状況について、研修施設認定に必要な専門研修プログラム原案が提示された。今後、日本専門医機構と調整の上、学会として研修施設整備基準を決定し、各研修施設に基幹・連携いずれの研修施設となるかのアンケートを行う。つづいて 3 月に研修モデルプログラムを作成し、機構の承認を経て 4 月以降に研修施設にこれを提示し各施設で研修プログラム作成をお願いする。

専門医更新についても原案が機構により大筋了承され、①診療実績 5～10 単位、②専門医共通講習 5～10 単位、③診療領域別講習 20～40 単位、④学術業績・診療以外の活動実績 0～10 単位で合計 50 単位が必要となる見込みである。

木村 聡幹事より専門医更新についてはリタイヤ後の専門医や病理専門医とのダブルライセンス取得者を含め、基本的には従来同様の診療・研修での更新が可能となるよう機構側と交渉、調整を行っているとの報告があった。

6. 選挙管理委員の任命について

佐守 友博会長より本年は会長および監事選挙年にあたり、選挙管理委員を若干名任命する予定であることが報告された。

7. 平成 27 年度行事予定

三宅 一徳庶務・会計幹事より資料 1 に基づいて平成 27 年度の行事予定が報告された。

8. 全国検査と健康展報告

佐藤 麻子幹事に代わり佐守 友博より昨年度の全国検査と健康展での検査相談に協力いただいた先生方のアンケート中間集計結果が報告された。

9. 平成 26 年度会計報告

佐守 友博会長より平成 26 年度会計は監事による監査が終了していないため、資料として報告する旨の説明があり、三宅 一徳庶務・会計幹事より資料 2 に基づいて報告がなされた。収入は会員会費納入率が低く予算を下回った。支出の部で予算との差異が大きいのは昨年度発行した LabCP 印刷代が本年度にずれ込んだこと、要覧印刷代が未使用である点、ネットワーク開発費が未使用である点であることが報告された。

10. その他

三宅 一徳幹事より要覧記載事項確認書については編集作業中であるが返送数が400枚程度に留まっており、未返送の会員には返送を促していただきたい旨の要望が出された。また、平成26年度第1回総会で承認された会則改定について平成27年1月1日付けでHPに掲載することが報告された。

また、市川綾子事務局担当の勤務態勢が暫時週2回程度となることが報告された。

[審議事項]

第2号議案 平成26年度会計報告

議長は平成26年度の会計報告を報告事項とし、監査後に再度審議を行うことに決した。(報告事項9参照)

第3号議案 第27回(平成29年度)春季大会について

議長より平成29年度第27回春季大会大会長として〆谷直人全国幹事が推薦され、その賛否を諮ったところ満場一致で賛成された。

第4号議案 第46回日本臨床検査専門医会総会における講演会

議長は第62回日本臨床検査医学会学術集会時の第46回日本臨床検査専門医会総会における講演会の講演内容について決定する必要があることを述べ、その内容案を諮った。議長より専門分野別ネットワークについてWGメンバーである宮崎 彩子幹事、河野 誠司幹事に講演をいただくとの提案があり、満場一致で承認された。

第5号議案 専門分野別ネットワーク開発のための補正予算について

議長は専門分野別ネットワーク開発および保守に係わる費用が当初予定の1,270,000円から2,500,000円に増加したことを報告し、本年度補正予算として差額の1,230,000円を計上することの可否を議場に諮った。全員異議なく賛成し、本年度第1回総会で審議を行うことに決した。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 27 年 3 月 14 日

上 原 由 紀

平成 27 年 3 月 25 日

村 田 哲 也

平成27年度 日本臨床検査専門医会 年間行事予定表(平成27年1月20日現在)

日 時	内 容	開 催 場 所	担 当 責 任 者
1月 24日(土) 15:00～	第1回全国幹事会	日本臨床検査医学会事務所	庶務会計幹事
3月14日(土) 15:00～	第1回常任幹事会	日本臨床検査専門医会事務局	庶務会計幹事
5月頃	第84回教育セミナー	慶應義塾大学(予定)	教育研修委員長
6月27日(土)	第5回生涯教育講習会	東大寺総合文化センター-金鐘ホール	教育研修委員長
6月27日(土)～28日(日)	第25回日本臨床検査専門医会春季大会	東大寺総合文化センター-金鐘ホール	松尾収二教授
6月27日(土)	第2回全国幹事会		庶務会計幹事
7月17日(金) 14:00～17:00	第46回日本臨床検査専門医会総会		庶務会計幹事
9月	第32回臨床検査振興セミナー 平成28・29年度会長、監事選挙	東京ガーデンパレス	渉外委員長
9月26日(土) 15:00～	第2回常任幹事会	日本臨床検査専門医会事務局	選挙管理委員長 庶務会計幹事
11月11日(水)	臨床検査の日(日本衛生検査所協会:平成27年度臨床検査普及月間大会、日本臨床衛生検査技師会:全国検査と健康展)	未定	全国検査と健康展担当幹事
11月19日(木) ～	第3回全国幹事会	岐阜大学	清島 満教授
11月22日(日)	第47回日本臨床検査専門医会総会・講演会	長良川国際会議場、都ホテル	庶務会計幹事
12月19日(土) 15:00～	第3回常任幹事会(新旧合同常任幹事会も同時開催)	日本臨床検査医学会事務所	庶務会計幹事 庶務会計幹事

日本臨床検査専門医会 平成26年度決算報告書
 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

平成26年12月31日現在

【一般会計】

収入 詳細は会計帳簿記載	入金	10,516,926	27,754,102
	前年度繰越金	17,237,176	
支出 詳細は会計帳簿記載	庶務経費	3,256,251	8,952,973
	事業経費	5,696,722	
収支および次年度繰越金			18,801,129

次年度繰越金	ゆうちょ銀行振替口座 残高証明書 別紙	18,026,830	18,801,129
	三菱東京UFJ銀行口座 残高証明書 別紙	691,898	
	現金	82,401	

【特別会計】

定期預金	三菱東京UFJ銀行口座 残高証明書 別紙	10,000,000
------	-------------------------	------------

【残高合計】

次年度繰越金＋定期預金	28,801,129
-------------	------------

平成27年1月20日

庶務・会計幹事

印

平成26年度日本臨床検査専門医会収支報告は、監査の結果、上記に相違ないことを認めます。

平成27年1月 日

監事

印

平成27年1月 日

監事

印

平成26年度 会計報告

26年	項目	予算額	決算額	予算と決算の差	
収入	会費	会員会費	6,670,000	5,353,000	-1,317,000
		賛助会員会費	3,900,000	4,300,000	400,000
		雑収入	0	0	0
		小計	10,570,000	9,653,000	-917,000
	その他	広告収入	400,000	251,626	-148,374
		教育セミナー参加費	500,000	370,000	-130,000
		生涯教育講演会参加費	100,000	96,000	-4,000
		振興セミナー参加費	100,000	144,000	44,000
		利息	15,000	2,300	-12,700
		小計	1,115,000	863,926	-251,074
入金合計		11,685,000	10,516,926	-1,168,074	
支出	庶務経費	事務局雑費	150,000	119,821	30,179
		通信費(事務局)	170,000	120,605	49,395
		人件費	1,400,000	1,166,620	233,380
		FAX使用料	60,000	58,802	1,198
		会員登録	10,000	0	10,000
		事務所維持費	1,700,000	1,704,823	-4,823
		設備費	150,000	85,580	64,420
		小計	3,640,000	3,256,251	383,749
	事業	印刷代	2,000,000	1,299,658	700,342
		要覧印刷代	550,000	0	550,000
		通信費	1,000,000	632,738	367,262
		春季大会補助金	500,000	500,000	0
		臨床検査振興セミナー費	900,000	804,744	95,256
		教育セミナー費	850,000	573,951	276,049
		会議費	1,000,000	968,967	31,033
		交通費	70,000	108,650	-38,650
		宿泊費	20,000	20,000	0
		原稿料	100,000	60,000	40,000
		専門医ネットワーク開発費	1,270,000	0	1,270,000
		HP維持費	170,000	128,498	41,502
		JCCLS会費	50,000	50,000	0
		WASPALM会費	45,000	49,516	-4,516
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	0
		内保連	100,000	200,000	-100,000
		予備費	390,000	0	390,000
		小計	9,315,000	5,696,722	3,618,278
	経費	出金合計	12,955,000	8,952,973	2,732,027
	収支決算			1,563,953	
	前年度繰越金			17,237,176	
	次年度繰越金			18,801,129	